

事務事業名	わかくさ図書館子どもの読書活動推進事業		所属部局	教育委員会	単位番号	12440				
	□ 実施計画事業		所属課室	市立図書館	課長名	滝沢 美保				
基本政策	基本計画体系	V	個性と文化を育む都市づくり	所属担当	わかくさ図書館	担当者名	森田 享子			
		22	生涯学習ネットワークの整備充実	予算科目	会計	名称	款	項	目	細目
政策	35	生涯学習システムの推進	事業区分	<input type="checkbox"/> 国の制度による義務的事業 <input type="checkbox"/> 施設等維持管理事業 <input type="checkbox"/> 県の制度による義務的事業 <input type="checkbox"/> 補助金交付事業 <input type="checkbox"/> 市の制度による義務的事業 <input checked="" type="checkbox"/> その他の事業 <input type="checkbox"/> 義務化されている協議会等の負担金						
施策		法令根拠		図書館法、子どもの読書活動に関する法律、南アルプス市立図書館条例						
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 年度) 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度) 年度)		事業費の主な内訳 (25年度 決算見込) 項目(細節) 金額(千円) 項目(細節) 金額(千円)							
事務事業の概要	事業の内容・・・期間限定複数年度事業は次年度以降3年間の計画内容も記載 子どもの発達段階に応じた読書支援 ・おはなし会、おはなし会0.1.2、地域出前サービスの開催 ・工作教室、映画会の開催 ・読書まつり、クリスマス会の開催 ・職場体験、図書館見学			消耗品費 25 食料費 5 計 30						

1 現状把握(DO)

(1) 事務事業の目的と目標

① 活動		⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)数字は記入しない	
25年度活動実績	おはなし会の開催、各種教室の開催 図書館見学、職場体験	⇒	名称 単位 アおはなし会の開催回数 回数 イ各種行事の開催回数 回数 ウ図書館見学・職場体験の実施回数 回数
26年度活動予定	おはなし会の開催、各種教室の開催 図書館見学、職場体験	⇒	⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標)数字は記入しない
② 対象(この事務事業は誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等		⇒	名称 単位 アおはなし会の参加人数 人数 イ各種行事の参加人数 人数 ウ図書館見学・職場体験の参加人数 人数
③ 意図(この事務事業により対象をどのような状態にしていけるのか、どのように変えるのか)		⇒	⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)数字は記入しない
本の楽しさを知り、本や図書館に親しむようになる。		⇒	名称 単位 ア18歳以下の貸出点数 点数 イ18歳以下の利用人数 人数 ウ
④ 上位目的(どのような結果に結び付けるのか)		⇒	⑧ 上位成果指標(結果の達成度を表す指標)数字は記入しない
児童書の貸出冊数が増える。		⇒	名称 単位 ア児童書の貸出冊数 冊数 イ

(2) 事業費・指標の推移

年間トータルコスト	事業費	財源内訳	単位	23年度 (決算・実績)	24年度 (決算・実績)	25年度 (決算見込・実績)	26年度 (予算・目標)	27年度 (計画・目標)	28年度 (計画・目標)	最終年度 (トータルコスト・目標)
			国庫支出金	千円						
県支出金	千円									
地方債	千円									
その他	千円									
一般財源	千円		30	30	30	31	31	31		
事業費計(A)	千円		30	30	30	31	31	31	0	
人件費										
正規職員従事人数	人		1	1	1	1	1	1		
延べ業務時間	時間		167	187	187	187	187	187		
人件費計(B)	千円		760	851	851	851	851	851	0	
(A)+(B)	千円		790	881	881	882	882	882	0	
活動指標										
ア	回数		37.0	37.0	37.0	37.0	37.0	37.0		
イ	回数		11.0	11.0	11.0	11.0	11.0	11.0		
ウ	回数		9.0	9.0	9.0	9.0	9.0	9.0		
対象指標										
ア	人数		816.0	1,340.0	1,380.0	1,421.0	1,463.0	1,463.0		
イ	人数		249.0	398.0	409.0	421.0	433.0	433.0		
ウ	人数		112.0	106.0	109.0	112.0	115.0	115.0		
成果指標										
ア	点数		14,744.0	14,798.0	15,241.0	15,698.0	16,168.0	16,168.0		
イ	人数		3,692.0	3,572.0	3,679.0	3,789.0	3,902.0	3,902.0		
ウ										
上位成果指標										
ア	冊数		27,340.0	28,500.0	29,355.0	30,235.0	31,142.0	31,142.0		
イ										

(3) この事務事業を取り巻く状況(対象者・社会状況等)の変化、市民意見等

① この事務事業はいつ頃どんな経緯で開始されたのか?	H15年、わかくさ図書館開館時から子どもたちに本の楽しさを伝え、読書に親しめるように開始した。
② 事務事業を取り巻く状況は開始時または5年前と比べてどう変化しているか? また、今後の予測は?	若草地区ばかりでなく市内外から多くの親子が参加してくれるようになった。今後も若草地区の児童を中心に多くの児童が図書館事業に参加してくれるようになる。
③ 事務事業に対して関係者(市民、事業対象者、議会等)からどんな意見・要望が寄せられているか?	行事の参加者からは、参加してよかったという感想が多く寄せられている。これからも図書館で企画するさまざまな行事に参加したいという声をいただいている。

(4) 改革改善の取り組み状況

① 改革改善の取り組み実施は?	<input checked="" type="checkbox"/> 取り組みしている ⇒【内容!】 <input type="checkbox"/> 取り組みしていない ⇒【理由!】
② これまでの改革改善の取り組み状況・経過(取り組みしていない場合はその理由)	定例のおはなし会以外に、七夕工作教室・エコ工作教室・映画会など年間を通してさまざまな行事を企画し、多くの子どもたちがこのことをきっかけに本に親しんでくれるように内容を工夫している。
③ H 25年度に実施した改革改善の内容	他課(環境課・文化財・児童館)との連携事業を行った。また事業への参加を全職員でPRし参加者増となった。H25年度、はじめて指定管理者との合同事業を開催した。(親子ふれあい事業)

事務事業名	わかさ図書館子どもの読書活動推進事業	所属部	教育委員会	所属課	市立図書館
-------	--------------------	-----	-------	-----	-------

2 評価(Check1)担当者による事後評価(複数年度事業は途中評価)

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系の施策に結びつき、貢献しているか？意図が上位目的に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 結びついていない(見直し余地がある) ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由↓】 南アルプス市の子どもたちが生涯を通じて読書に親しめるようにするために、子どものころから読書活動に対する働きかけが必要である。
	② 公共関与の妥当性 この事務事業を税金を投入して市が行わなければならないのか？ 民間やNPO、市民協働に移行することは可能か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由↓】 市の「子どもの読書活動推進計画」を進めるために、必要な事業である。 事務事業の全部もしくは一部を外部に移行することが可能である。 <input type="checkbox"/> 民間・NPO <input type="checkbox"/> 市民協働
	③ 維持・継続の妥当性 現状の対象と意図、成果から考えて、この事務事業を将来にわたり、維持・継続していくことは妥当か？目的や事業の必要性を見直す余地はあるか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由↓】 様々な事業を行うことで、子どもたちが本や図書館に親しむようになる。将来にわたり、維持・継続していくことは必要である。目的や事業の必要性を見直す余地はない。
有効性 評価	④ 成果の向上余地 今後さらに事務事業の成果を向上させることはできるか？できない場合は何が原因でできないのか？	<input type="checkbox"/> かなり向上余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> ある程度向上余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由↓】 ブックスタート(4ヶ月) セカンドブック(小学校入学) サードブック(中学入学)などで、図書に馴染む環境設定を展開していくと成果の向上の余地がある
	⑤ 類似事業との統廃合・連携の可能性 類似した目的を持つ事務事業が他にあるか？類似事務事業がある場合、その事務事業との統廃合や連携を図ることはできるか？	<input type="checkbox"/> 類似事務事業がある ⇒(類似する事務事業の名称を記入↓) <input type="checkbox"/> 統廃合ができる ⇒【理由と具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input type="checkbox"/> 統廃合ができない ⇒【理由↓】 子どもたちが徒歩や自転車などで、各種の行事に参加してもらうには、地域の図書館ごとに開催することが一番良い。 <input checked="" type="checkbox"/> 類似事務事業がない
効率性 評価	⑥ 休止・廃止した時の影響及び休止・廃止の可能性 この事務事業を休止・廃止した場合影響はあるか？また成果から考えて、休止・廃止することはできるか？	<input type="checkbox"/> 影響なし <input checked="" type="checkbox"/> 影響あり ⇒【理由と影響の内容↓】 子どもの読書活動推進のための各種事業が廃止されると、子どもたちやその保護者に読書の楽しさや図書館の良さを伝えることができなくなる。 <input type="checkbox"/> 休止・廃止ができる <input type="checkbox"/> 休止・廃止できない ⇒【理由↓】 市の子どもの読書活動推進計画を進めていくためにも、事業の廃止はできない。
	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費(コスト)を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由↓】 必要最小限の事業費の中でやっている。これ以上の削減はできない。
公平性 評価	⑧ 人件費の削減余地 成果を下げずに人件費を削減できないか？(事業のやり方の見直しによる業務時間の削減や臨時職員対応や外部委託による削減はできるか？)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由↓】 現在、正規職員は1名、常勤臨時職員2名で業務にあたっているが、正規が1名しかいないので、これ以上の人件費の削減はできない。
	⑨ 受益機会・受益者負担の適正化余地 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていないか？受益者負担を見直す必要はないか？公平公正か？	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由↓】 一部の乳幼児・児童だけでなく、より多くの子どもたちが図書館の行事に参加して、本の楽しさを知り図書館に親しんでもらえるように事業の周知方法を工夫していく必要がある。

3 評価(Check2)担当課管理者による評価結果と総括

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 1次評価の総括(事務事業を実施した結果を振り返り気づいたこと、課題、今後の方向性等について)
① 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ② 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③ 効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ④ 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	様々な事業が行われているので、これからは同一層の周知や広報を行い、多くの児童が図書館に来たくなる、本を適とりたくなるように工夫を図る。 生涯学習センター入口の「おはなしの部屋」をより活発に利用した事業を行なう。

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事務事業の方向性(Check1の結果から定める)・・・複数選択可	(3) 改革・改善による方向性																					
<input type="checkbox"/> 廃止(目的妥当性①、②、③の結果) <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携(有効性⑤の結果) <input type="checkbox"/> 公平性改善(公平性⑨の結果) <input type="checkbox"/> 休止(目的妥当性①、②、③の結果) <input checked="" type="checkbox"/> 成果向上(有効性④の結果) <input type="checkbox"/> 現状維持(全評価項目で適切) <input type="checkbox"/> 必要性検討(目的妥当性①、②、③の結果) <input type="checkbox"/> コスト削減(効率性⑦、⑧の結果)	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <th colspan="3">コスト水準</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果水準</th> <th>向上</th> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input checked="" type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> </table> ※ 廃止・休止の場合は記入不要			コスト水準			削減	維持	増加	成果水準	向上	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	維持	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	低下	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
				コスト水準																		
		削減	維持	増加																		
成果水準	向上	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																		
	維持	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																		
	低下	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																		
(2) 改革改善案について	(5) 事務事業優先度評価結果 平成25年度																					
① 多くの子どもたちが参加できるよう周知方法を工夫する。 ② 他課との合同事業とさらに開催する。 ③ 指定管理者との合同事業を開催する。	<table border="1"> <tr> <td>成果優先度評価結果</td> <td>②</td> </tr> <tr> <td>コスト削減優先度評価結果</td> <td>⑪</td> </tr> </table>	成果優先度評価結果	②	コスト削減優先度評価結果	⑪																	
成果優先度評価結果	②																					
コスト削減優先度評価結果	⑪																					
(4) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策																						
① この事業をより多くの子どもたちに知らせるためには、保育所、学校、児童館等子どもと関わる施設を通して保護者へのPRが必要である。また、出前サービス等図書館ボランティアと協同して様々な事業を開催する。 ② 他課(環境課・文化財課・児童館等)との連携事業の充実を図る。 ③ 指定管理者との合同事業を開催する。																						